

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	送 付 委員会名
30年 第11号	30.10.29	<p>国に対して病院船を保有する意見書を提出することに関する陳情</p> <p>東日本大震災以降も、日本は多くの自然災害に遭遇している。地震や台風、集中豪雨、豪雪等によって、山体崩壊、土砂崩れ、河川の氾濫、高潮、家屋の倒壊、浸水などが引き起こされている。</p> <p>特に地震は、毎日どこかの地域で発生している。台風や集中豪雨、豪雪などは、ある程度被害想定はできるが、地震発生について、確率は予測できても、地震発生の予測は不可能である。</p> <p>今心配される南海トラフ巨大地震、首都直下型地震などの人口密集地帯での発生では、甚大な被害が予測されている。</p> <p>今日の東京は一極集中で、直下型地震が起きれば日本の経済に壊滅的な打撃を与えると警告されている。その被害総額は約95兆円とも言われている。</p> <p>政府の中央防災会議の被害想定で、上水道断水、下水道利用困難、停電等、特に帰宅困難者数も数百万人と数字が出ており、東日本大震災より大規模な被害が想定されている。</p> <p>多くの傷病者を救出するために、病院船があれば救助の一助になると思う。国に対して自然災害に備えて病院船の保有を求める意見書を提出することについての陳情をお願いする次第である。</p> <p>よって、下記事項を陳情する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 国に対して病院船を三隻保有する意見書を提出すること。 (日本海側一隻、太平洋側二隻)</p>	<p>一輪のバラの会 代表 加藤 克助</p>	<p>防災環境 産業</p>